

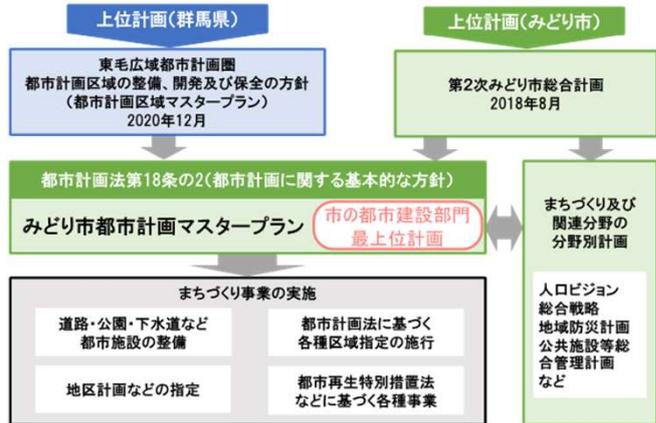
みどり市都市計画マスタープランを改定します

(2024年度改定予定)

パネル展示のおさらい

都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランとは「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のことであり、都市計画法第18条の2の規定に基づいて定めるものとされています。都市計画マスタープランは、土地利用や道路・公園・下水道等の施設整備、自然環境の保全や景観の形成など、望ましい将来都市像やまちづくりの方向性を総合的に示す計画で、今後のまちづくりを進める上で指針となるものです。



みどり市の現状とまちづくりの課題

現状 人口減少・少子高齢化の進行 市街地の無秩序な広がり 道路や下水道の老朽化 空き家の増加 など



みどり市の強み

公共交通で優位、人を惹きつける場所がある

みどり市の弱み

自動車への高い依存、憩いの場所が不足

将来の課題は...

『強み』を活かし『弱み』を克服しながら『現状』の問題解消に取り組みます

- 対象地域 : みどり市全域
- 計画期間 : 概ね20年間
- 目標年次 : 2043年

各種意向調査結果

お住まいの地域に対する満足度と重要度

東町	大間々町	笠懸町
<p>A 重点維持項目 (重要度、満足度が高い)</p> <p>①豊かな森林が広がる自然溢れる風景 ④自然環境の魅力</p>	<p>A 重点維持項目 (重要度、満足度が高い)</p> <p>⑩日常の買物の利便性 ⑬下水道の整備</p>	<p>A 重点維持項目 (重要度、満足度が高い)</p> <p>⑩日常の買物の利便性</p>
<p>C 重点改善項目 (重要度が高く、満足度が低い)</p> <p>⑩日常の買物の利便性</p>	<p>C 重点改善項目 (重要度が高く、満足度が低い)</p> <p>⑩歩道の整備 ⑬公園・緑地・広場の整備</p>	<p>C 重点改善項目 (重要度が高く、満足度が低い)</p> <p>⑬下水道の整備、⑩歩道の整備 ⑬公園・緑地・広場の整備</p>
<p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> わたらせ渓谷鉄道や自然を生かした観光地をもっと作るべき 農地がどんどん空いてくるのが予想されるので、その後の土地の活用が問題になる マイカーがない人は、年をとってからの買い物や通院が困難 	<p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に企業を誘致して、雇用を作れば人口流出の防止になる 空き家は災害時、防犯にも不安なので対応して欲しい 市街地周辺の渋滞を解消してほしい 	<p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供を遊ばせるための公園が少ない まちの活性化に繋がるので企業誘致を積極的に行ってほしい 大雨の時に道路が冠水するため下水道の整備をしてほしい

農地所有者の意向

東町	大間々町	笠懸町
<p>【回答者の年齢】 60代 34%、70代以上 62% (60代以上 96%)</p>	<p>【回答者の年齢】 60代 29%、70代以上 58% (60代以上 87%)</p>	<p>【回答者の年齢】 60代 33%、70代以上 47% (60代以上 80%)</p>
<p>【将来の農地の活用意向】 n=100</p>	<p>【将来の農地の活用意向】 n=165</p>	<p>【将来の農地の活用意向】 n=223</p>
<p>【離農したい理由】</p> <p>1位: 高齢化・労働力不足(37%) 2位: 売却したい(14%) 3位: 土地条件が悪い(11%)</p>	<p>【離農したい理由】</p> <p>1位: 売却したい(31%) 2位: 高齢化・労働力不足(25%) 3位: 後継者不足(17%)</p>	<p>【離農したい理由】</p> <p>1位: 高齢化・労働力不足(38%) 2位: 売却したい(35%) 3位: 後継者不足(17%)</p>

事業者の意向

<p>【悩み・不安】</p> <p>1位: 人員・人材の確保(21%) 2位: 市内の人口減少(21%) 3位: 価格競争力(13%)</p>	<p>【悩み・不安】</p> <p>1位: 人員・人材の確保(23%) 2位: 市内の人口減少(18%) 3位: 道路アクセス(12%)</p>	<p>【悩み・不安】</p> <p>1位: 人員・人材の確保(25%) 2位: 後継者の育成(11%) 3位: 価格競争力(10%)</p>
--	---	---



パネル展示のおさらい

将来都市構造

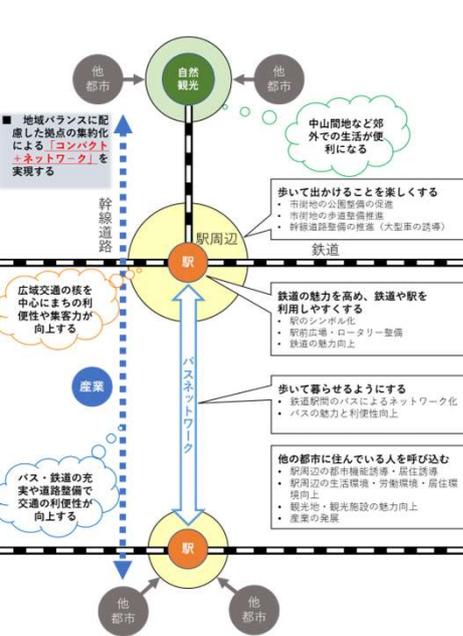
●将来都市像

まちづくりの理念
 第2次みどり市総合計画
 ・人が生きることと豊かな自然が共生するみどり市をつくります
 ・人の活動とまちの資源が織りなす豊かさづくりに取り組みます
 ・人とひとが助け合い、協働してまちづくりに取り組みます

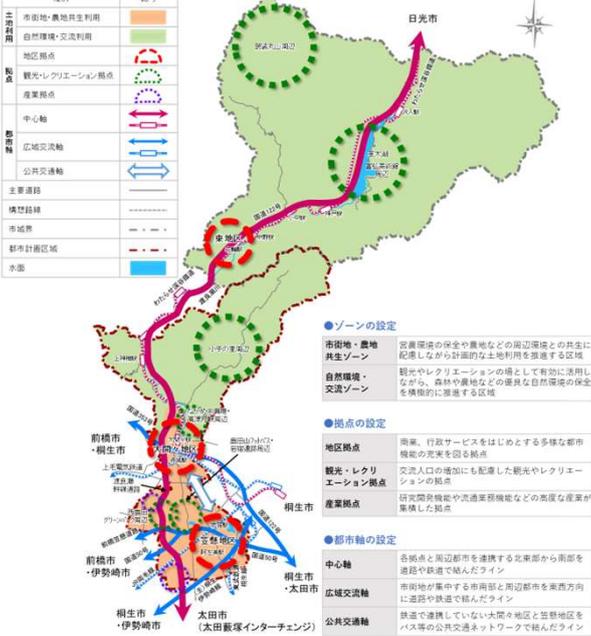
みどり市都市計画マスタープラン
まちづくりの理念
 豊かな自然と多様な特性を生かし、
 人々が心豊かに生活できるまちづくりの実現

将来像 輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市

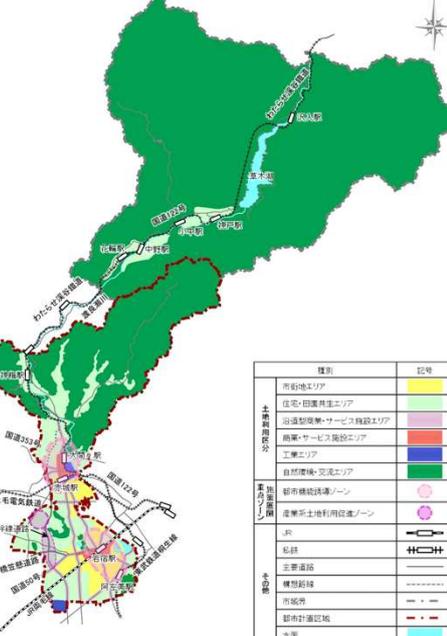
●将来都市構造の視点



●将来都市構造図



●土地利用方針図



地域別構想

地域区分の基本的な考え方(判断基準)

- ①将来的な市街地拡大の可能性の有無
- ②良好な環境を有する都市形成に対する支障の有無

地域区分

- 南部地域 (笠懸町全域、大間々町南部)
- 北部地域 (大間々町北部、東町全域)

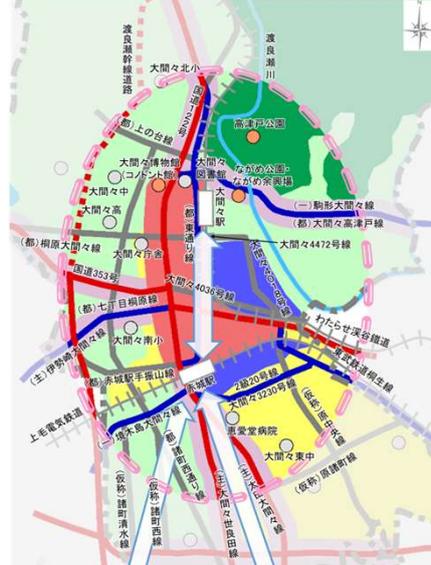
また、将来都市像の実現に向けて特に「重要性」が高く、現時点で早急に対応が求められている施策、他分野にわたる課題で相乗効果が期待される施策、先導的で波及効果が期待される施策等を優先的に取り組むべき地域として『重点施策展開ゾーン』を位置付けます。

<重点施策展開ゾーン>

○岩宿駅・阿左美駅ゾーン



○大間々ゾーン

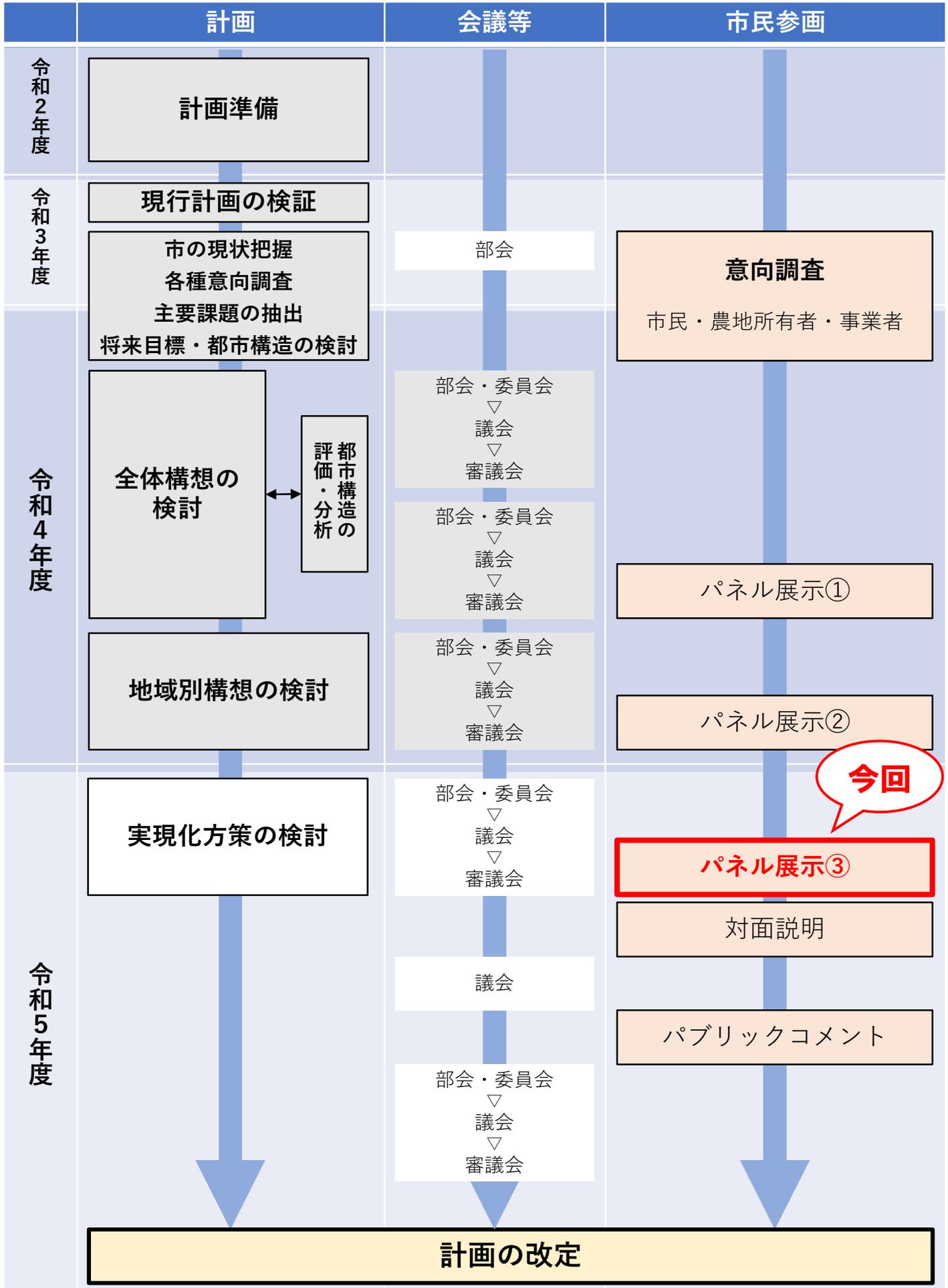


○渡良瀬幹線産業ゾーン



改定スケジュール

都市計画マスタープランの改定は、以下のスケジュールで進めています。



実現化方策の検討

南部地域

◆ 地域の特徴

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代等の若年層の転入が多い 岩宿遺跡などの貴重な地域資源が存在 鹿田山、稲荷山、阿左美沼、要害山、高津戸峡、渡良瀬川をはじめとする豊かな自然資源が存在 幹線道路沿いに多くの商業施設が立地 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅・商業・工業・農地等が混在 低密度な市街化進行により基盤整備が遅れている 住宅街に空き家や空き地が目立つ 公園・緑地・広場の適正配置による整備が遅れている 突発的な豪雨による道路冠水等の被害が発生 生活道路の一部で安全な歩行が困難 公共交通の利用者数が減少傾向 過去に建設された公共施設が大量に更新時期を迎える

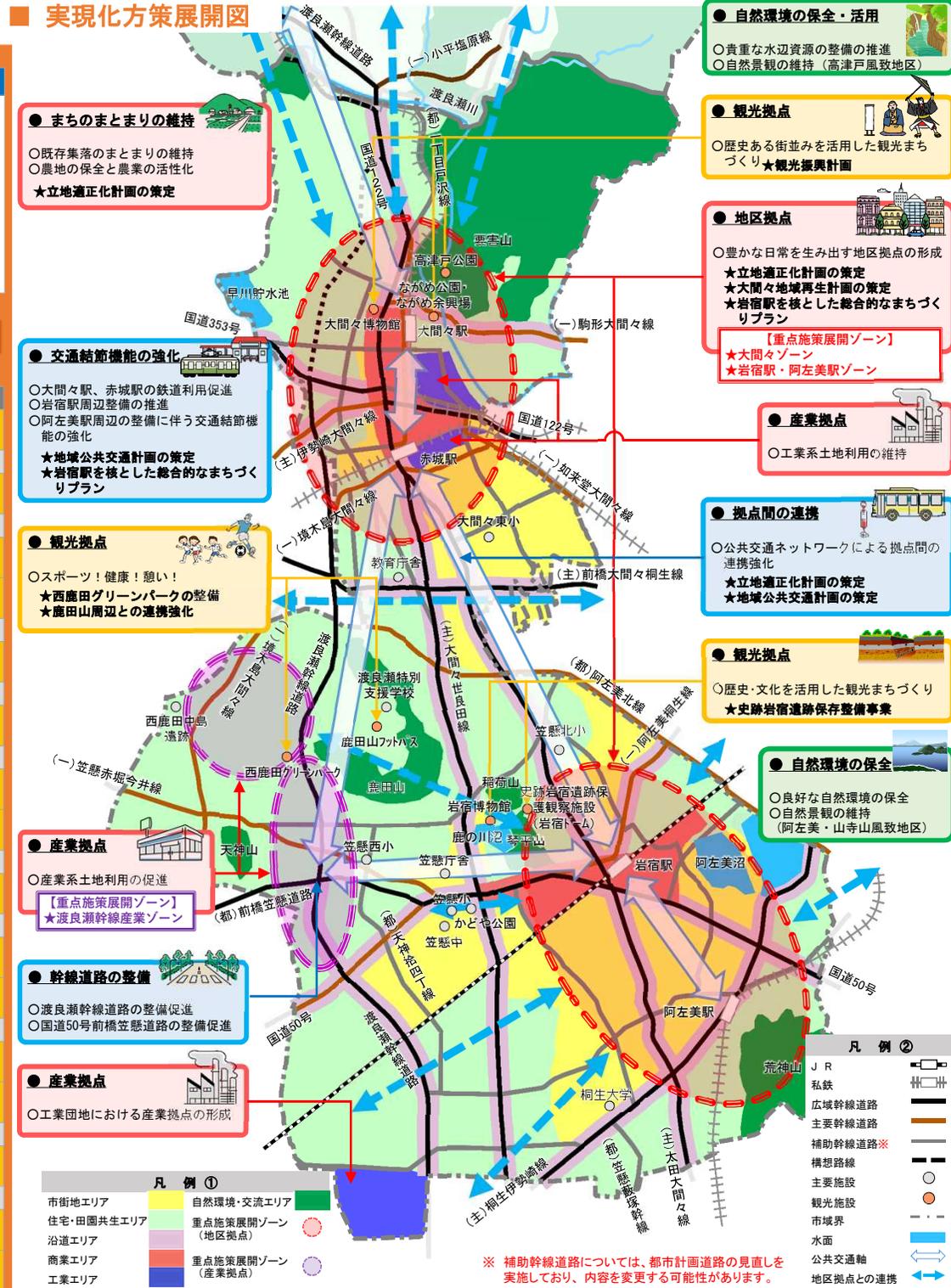
◆ 将来像

「つながり」によりにぎわいと魅力を生みだす居心地よいまち

◆ 地域づくりの方針・実現化方策

<方針> / ○実現化方策	分野別の取組				
	土地利用	交通体系	公園緑地	河川下水道	その他都市環境
<方針> まちのまとまりを維持します ○ 立地適正化計画等の土地利用計画によるコンパクトなまちづくり	●				
<方針> 誰もが移動しやすい「つながり」を強化します ○ 地域公共交通計画の策定などによる地区拠点・観光拠点・周辺都市をつなぐ公共交通網の構築 ○ 道路治水プログラムに基づく、道路整備の推進	●	●			
<方針> 営農環境と居住環境の調和を図ります ○ 土地利用計画による生活の質、営農環境の向上	●		●		
<方針> 農地を保全し農業を活性化します ○ 担い手の要望に沿った農地の保全や適切な土地利用による営農環境の向上	●				
<方針> 公園を整備・再生します ○ 公園・広場適正配置計画の策定による市民の意向を反映した活用度の高い公園への再生・再編を推進 ○ 西鹿田グリーンパークの整備			●		
<方針> 自然環境を保全し活用します ○ 鹿田山周辺の自然環境保全とフットパスを活用した憩いの空間の創出			●		●
<方針> 生活環境を改善します ○ 下水道と合併処理浄化槽のベストミックスによる効果的な污水处理環境の整備促進 ○ コンパクトなまちづくりを通じた脱炭素社会の促進	●				
<方針> 災害・安全対策を実施します ○ 道路冠水・浸水対策の促進 ○ 公共施設や民間施設等を活用した避難場所の確保				●	
<方針> 地域資源を生かして観光を活性化します ○ 岩宿遺跡等の地域資源を活用した観光誘客の促進					●
<方針> 空き家空き地を活用します ○ 使用者の意向を反映した空き家の改修支援 ○ 空き家バンク制度による物件紹介を通じた移住定住の促進					●

■ 実現化方策展開図



南部地域 岩宿駅・阿左美駅ゾーン 重点施策展開ゾーン

◆ 地域の特徴

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> 国道50号や主要地方道桐生伊勢崎線などの幹線道路が通過 幹線道路沿線に大型商業施設が複数立地 J R両毛線岩宿駅や東武桐生線阿左美駅などの公共交通が充実している 交通拠点の周辺に商業、文化、スポーツ、医療施設が集まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺や市街地等に慢性的な渋滞が発生 岩宿駅と阿左美駅をつなぐ公共交通が不足している 駅から周辺施設への道路が狭く、歩道がなく、アクセスが悪い 駅周辺に低未利用地があり、にぎわいが不足している 岩宿駅前のロータリーが狭く、交通が混雑して危険

◆ 将来像

広域ネットワークと多様な生活サービスによるにぎわいと交流の輪が広がるまち

◆ 地域づくりの方針・実現化方策【重点施策】

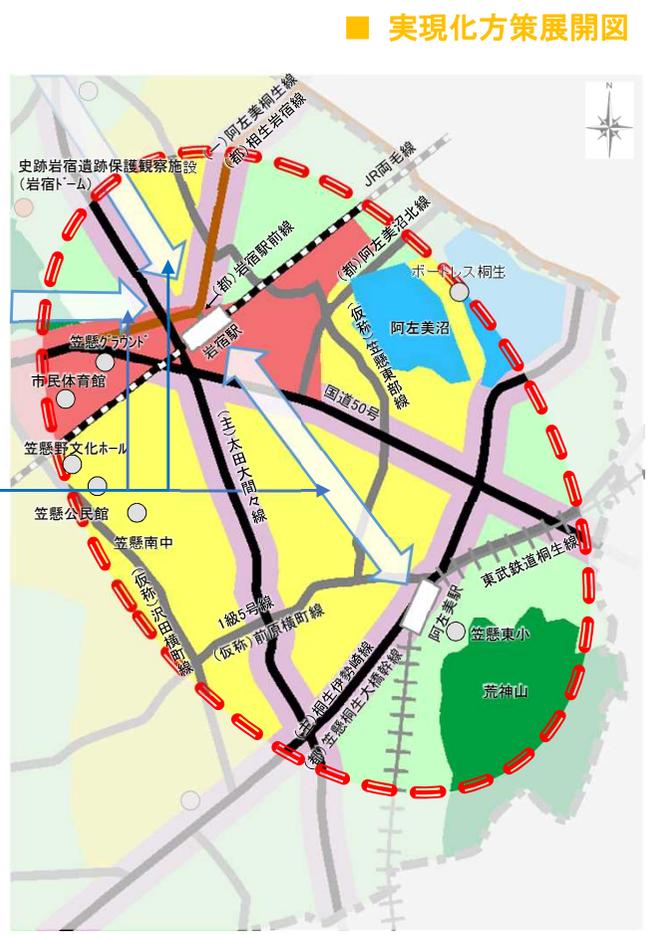
＜方針＞ / ○実現化方策	分野別の取組				
	土地 利用	交通 体系	公園 緑地	河川 下水道	その他 都市環境
＜方針＞ 生活拠点を便利にします					
○ 「岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン」の推進	●	●	●	●	●
○ 公共交通の充実と周辺道路の整備により、ウォーカブルなまちづくりの推進	●	●			
○ 立地適正化計画の策定等による商業施設など都市機能の誘導	●				
＜方針＞ 交通拠点の機能を強化します					
○ 岩宿駅前広場の整備	●	●	●	●	●
○ 岩宿駅の橋上化等による南北からの駅利便性の向上		●	●		
○ 地域公共交通計画の策定による地区拠点と周辺都市をつなぐ公共交通網の構築		●	●		
＜方針＞ 交通環境を改善します					
○ 県道改良事業と連携した周辺道路の整備による渋滞の解消		●			
＜方針＞ 観光を活性化します					
○ ポートレース桐生や阿左美沼などの地域資源を活用した観光誘客の促進	●	●	●	●	●



● 地区拠点
【岩宿駅・阿左美駅】
 ○豊かな日常を生み出す地区拠点の形成
 ★立地適正化計画の策定
 ★地域公共交通計画の策定
 ★岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン

● 交通結節機能の強化
 ○岩宿駅周辺整備の推進
 ○阿左美駅周辺に伴う交通結節機能の強化
 ★地域公共交通計画の策定
 ★岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン

● 拠点間の連携
 ○公共交通ネットワークによる拠点間の連携の強化
 ★立地適正化計画の策定
 ★地域公共交通計画の策定



※ 重点施策以外で主に取組む方策

＜方針＞誰もが移動しやすい「つながり」を強化します
 ○道路治水プログラムに基づく、道路整備の推進

＜方針＞営農環境と居住環境の調和を図ります
 ○土地利用計画による生活の質、営農環境の向上

＜方針＞公園を整備・再生します
 ○公園・広場適正配置計画の策定による市民の意向を反映した活用度の高い公園への再生・再編を推進

＜方針＞生活環境を改善します
 ○下水道と合併処理浄化槽のベストミックスによる効果的な汚水処理環境の整備促進

＜方針＞災害・安全対策を実施します
 ○道路冠水・浸水対策の促進

凡例

市街地エリア		JR	
住宅・田園共生エリア		私鉄	
沿道エリア		広域幹線道路	
商業エリア		主要幹線道路	
工業エリア		補助幹線道路※	
自然環境・交流エリア		構想路線	
重点施策展開ゾーン		主要施設	
		観光施設	
		市域界	
		水面	
		公共交通軸	
		地区拠点との連携	

※ 補助幹線道路については、都市計画道路の見直しを実施しており、内容を変更する可能性があります。

◆ 地域の特徴

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> 大間々本町通り周辺は歴史的な街並みを形成 民俗・祭りなどの無形民俗文化財が存在 ながめ余興場や高津戸峡などの地域資源がまちなかからアクセスしやすい位置にある 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街（本町通り周辺）で空き店舗や空き地が増加 観光入込客数の減少 人口減少や高齢化により企業の担い手が不足 赤城駅と大間々駅をつなぐ公共交通が不足 本町通りの歩道空間が狭く歩きにくい

◆ 将来像

歴史・文化と多様な生活サービスが融合した
にぎわいと活力のある魅力あふれるまち

◆ 地域づくりの方針・実現化方策【重点施策】

＜方針＞ / ○実現化方策	分野別の取組				
	土地利用	交通体系	公園緑地	河川下水道	その他都市環境
＜方針＞ 歴史や伝統文化を継承していきます ○ 「大間々地域再生整備計画」の策定と推進	●	●	●	●	●
○ 景観計画による本町通りの歴史的街並みの維持	●				
○ 公共施設個別施設計画による大間々博物館等の計画的な維持管理	●				●
＜方針＞ 交通拠点の機能を強化します ○ 地域公共交通計画の策定等による地区拠点と周辺都市をつなぐ公共交通網の構築		●			
＜方針＞ 観光を活性化します ○ 歴史的街並みやながめ余興場等の地域資源を活用した観光誘客の促進					●
＜方針＞ 商店街を再生します ○ 使用者の意向を反映した空き店舗活用支援 ○ リノベーションまちづくりによる空き店舗や空き地の利活用 ○ 家守会社（民間の力でお金を稼ぎながらまちづくりを行う団体）の設立を支援					●

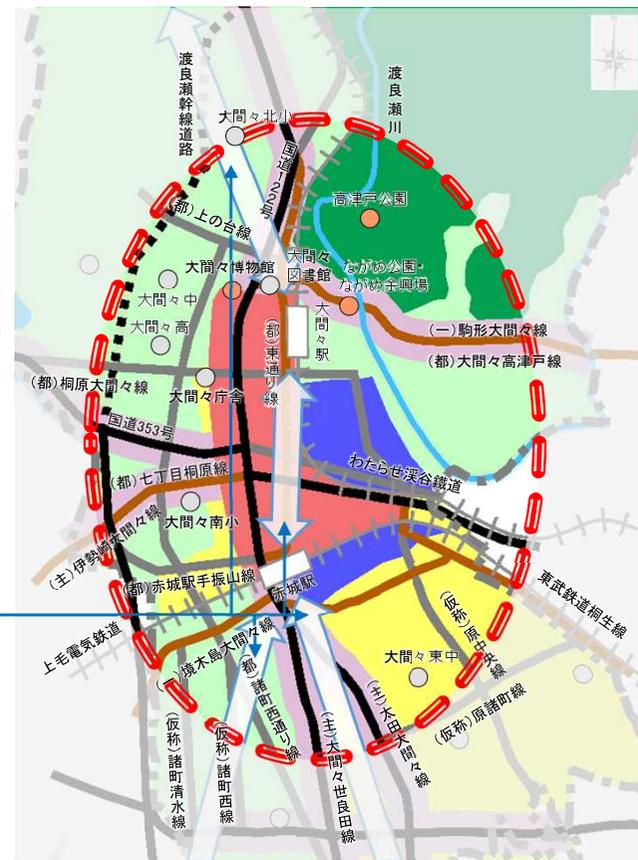


● **地区拠点**
【大間々ゾーン】
 ○豊かな日常を生み出す地区拠点の形成
 ★大間々地域再生計画の策定
 ★立地適正化計画の策定
 ★地域公共交通計画の策定

● **交通結節機能の強化**
 ○大間々駅、赤城駅の鉄道利用促進
 ★地域公共交通計画の策定

● **拠点間の連携**
 ○公共交通ネットワークによる拠点間の連携の強化
 ★立地適正化計画の策定
 ★地域公共交通計画の策定

■ 実現化方策展開図



※ 重点施策以外で主に取組む方策

- ＜方針＞ まちのまとまりを維持します
○立地適正化計画等の土地利用によるコンパクトなまちづくり
- ＜方針＞ 誰もが移動しやすい「つながり」を強化します
○道路治水プログラムに基づく、道路整備の推進
- ＜方針＞ 公園を整備・再生します
○公園・広場適正配置計画の策定による市民の意向を反映した活用度の高い公園への再生・再編を推進
- ＜方針＞ 生活環境を改善します
○下水道と合併処理浄化槽のベストミックスによる効果的な汚水処理環境の整備促進
- ＜方針＞ 空き地空き家を活用します
○使用者の意向を反映した空き家の改修支援

凡例

市街地エリア		JR	
住宅・田園共生エリア		私鉄	
沿道エリア		広域幹線道路	
商業エリア		主要幹線道路	
工業エリア		補助幹線道路※	
自然環境・交流エリア		構想路線	
重点施策展開ゾーン		主要施設	
		観光施設	
		市域界	
		水面	
		公共交通軸	
		地区拠点との連携	

※ 補助幹線道路については、都市計画道路の見直しを実施しており、内容を変更する可能性があります。

南部地域 渡良瀬幹線産業ゾーン 重点施策展開ゾーン

◆ 地域の特徴

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> ・北関東自動車道太田藪塚ICに接続する幹線道路が供用開始 ・国道50号前橋笠懸道路や渡良瀬幹線道路の整備が進行中 ・広域幹線道路の整備による開発ポテンシャルの高まり ・平坦な地形であり、土砂災害の危険が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域幹線道路の整備による無秩序な開発の懸念 ・農業中心であり、周辺道路が脆弱 ・田園周辺に道路冠水箇所が多く点在している ・優良農地の集団性が損なわれ、営農環境が悪化

◆ 将来像

良好な交通アクセスと産業の集積による活気あふれるまち

◆ 地域づくりの方針・実現化方策【重点施策】

＜方針＞ / ○実現化方策	分野別の取組				
	土地 利用	交通 体系	公園 緑地	河川 下水道	その他 都市環境
＜方針＞ 幹線道路の整備を促進します					
○ 国道50号前橋笠懸道路や渡良瀬幹線道路等の整備促進		●			
○ 道路治水プログラムに基づく、幹線道路整備と連携した周辺道路の整備促進		●			
＜方針＞ 産業の発展を支援します					
○ 立地適正化計画や土地利用計画の策定により、まとまりのある良質な産業の誘致	●				
○ 産業団地造成事業や企業用地整備事業による既存企業の業務展開や新たな企業への支援	●				
○ 道路冠水・浸水対策による産業の災害レジリエンス向上		●		●	
＜方針＞ 営農環境を確保します					
○ 効率的・高収益性の農業への転換促進や他地域の集団農地の活用と農業拠点化の検討	●				



渡良瀬幹線道路



※ 重点施策以外で主に取組む方策

＜方針＞ 誰もが移動しやすい「つながり」を強化します

- 地域公共交通計画の策定などによる地域拠点・観光拠点・周辺都市をつなぐ公共交通網の構築
- 道路治水プログラムに基づく、道路整備の推進

＜方針＞ 農地を保全し農業を活性化します

- 担い手の要望に沿った農地の保全や適切な土地利用による営農環境の向上

＜方針＞ 公園を整備・再生します

- 西鹿田グリーンパークの整備

＜方針＞ 自然環境を保全し活用します

- 鹿田山周辺の自然環境保全とフットパスを活用した憩いの空間の創出

＜方針＞ 災害・安全対策を実施します

- 道路冠水・浸水対策の促進

凡例

市街地エリア		JR	
住宅・田園共生エリア		私鉄	
浴道エリア		広域幹線道路	
商業エリア		主要幹線道路	
工業エリア		補助幹線道路※	
自然環境・交流エリア		構想路線	
重点施策展開ゾーン		主要施設	
		観光施設	
		市域界	
		水面	
		公共交通軸	
		地区拠点との連携	

※ 補助幹線道路については、都市計画道路の見直しを実施しており、内容を変更する可能性があります。

北部地域

◆ 地域の特徴

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> 森林や渡良瀬川等の豊かな自然資源が存在 小平の里や貴船神社、富弘美術館などの地域資源が存在 希少な野生動植物が生息 渡良瀬幹線道路の整備が進行 首都圏と日光をつなぐ国道122号が通過 路線バスが運行 1路線6駅でわたらせ渓谷鐵道が運行 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少と高齢化が急速に進行 農林地所有者の高齢化が進行し離農傾向にある 地域に生活サービス施設が不足 山間部では土砂災害が頻発 公共交通の利用者数が減少傾向 過去に建設された公共施設が大量に更新時期を迎える

◆ 将来像

美しい自然と共生した交流とやすらぎのまち

◆ 地域づくりの方針・実現化方策

<方針> / ○実現化方策	分野別の取組				
	土地利用	交通体系	公園緑地	河川下水道	その他都市環境
<方針> 豊かな自然を保全します					
○ 環境基本計画や景観計画によるみどり豊かで多様な自然環境の保全	●		●		
<方針> まちのまとまりを維持します					
○ 転入者等の既存集落への居住誘導	●				
○ 立地適正化計画による地域生活拠点の形成	●				
○ 公共施設個別施設計画に基づく、老朽化した公共施設の計画的・効率的な維持管理・更新					●
○ 使用者の意向を反映した空き家の改修支援					●
○ 空き家バンク制度による物件紹介を通じた移住定住の促進					●
<方針> 観光を活性化します					
○ 観光振興計画による、観光施設の整備推進や計画的な維持管理、地域資源を活用した観光まちづくりの推進					●
○ 滞在型宿泊施設(旧サンレイク草木)を中心に草木湖周辺や、東町の貴重な自然(観光資源)と連携した観光誘客の促進			●		●
<方針> 生活環境を改善します					
○ 農業集落排水と合併浄化槽のベストミックスによる効果的な汚水処理環境の整備促進				●	
<方針> 高齢者や観光客など誰もが移動しやすい公共交通を充実させます					
○ 地域公共交通計画の策定による市内中心部・観光拠点・周辺都市をつなぐ公共交通網の構築		●			
<方針> 安全安心な暮らしを守ります					
○ 渡良瀬幹線道路や小平塩原線滝ノ上工区等の整備促進		●			
○ 公共施設や民間施設等を活用した避難場所の確保					●
○ 集落につながる道路の老朽化対策や避難経路の確保		●			

■ 実現化方策展開図



計画の実現に向けた取り組み

●連携と協働による都市づくり

■市民の役割

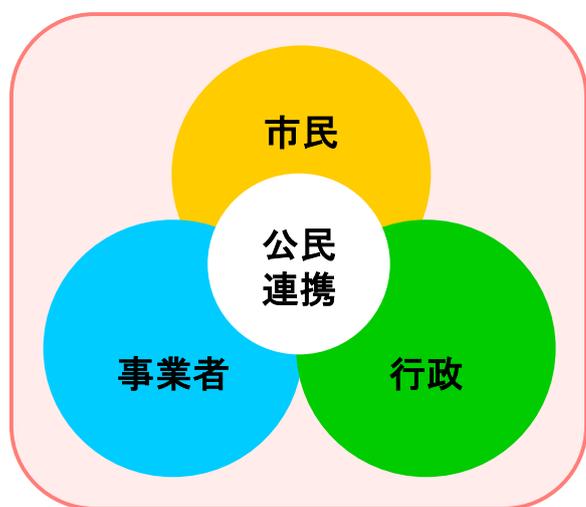
- ・都市計画マスタープランに対する理解
- ・まちづくり活動の実施、積極的な参加
- ・地域活動への積極的な参画 など

■事業者などの役割

- ・都市計画マスタープランに対する理解
- ・まちづくり活動への積極的な参加
- ・まちづくり活動への貢献 など

■行政の役割

- ・都市計画やまちづくりに関する情報提供
- ・市民・事業者・行政によるまちづくり活動の連携
- ・まちづくりへの参画のための仕組みの構築 など



●効果的な都市づくり

市民参加の 機会充実

アンケート調査やワークショップ、パブリックコメントなど様々な機会を設け、より参画しやすい環境づくりを進めます。

情報発信と 意識啓発

広報誌やホームページなど様々な情報媒体を活用しながら情報を発信し、都市づくりに関する情報を積極的に提供します。

市民・事業者・NPO などへのまちづくり活 動支援

市民や行政が進める都市づくりに積極的に協力、または参加することが求められます。

関係機関 (国・県周辺市町村) との連携・調整

県や近隣都市などと連携を図りながら都市づくりを進めます。また、都市づくりに関わりがある大学機関などとも協力し、専門的な見地から都市づくりに関わる各種取り組みを進めます。

庁内の連携

庁内における各担当部署においては、本計画に即して個別計画の策定や具体的な事業を進めます。

計画の進行管理と見直し

- ・社会情勢の変化等を的確に把握し、本計画の進捗管理を適切に行うため、PDCAサイクル(P(計画)D(実施)C(評価)A(改善))の考えに基づき、評価・検証を行います。
- ・計画期間内であっても、社会情勢の大きな変化や上位計画の大幅な見直し等本計画の内容に大きく関わる事象が発生した場合は、必要に応じて計画の見直しを行います。

